



2021年12月16日

各 位

会 社 名 gooddays ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小倉 博
(コード番号：4437 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 管理本部長 高尾 秀四郎
(TEL. 03-5781-9070)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日グロース市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○ 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式比率」のみ基準を充たしていないため、2026年6月末までに上場維持基準を充たすよう取り組んでまいります。

	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	株式流通比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	6,394 単位	7 億円	19.3%
上場維持基準	1,000 単位以上	5 億円以上	25%以上
計画書に 記載の項目			○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○ 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、取り組みの内容

当社は、移行基準日時点で、創業者で代表取締役社長である小倉博及び代表取締役副社長である小倉弘之の保有株式数と事業法人等所有株式数が合計で78%を超過していることなどから流通株式比率が東証に定める基準によると19.3%と25%を下回っております。

一方当社は、「ITセグメント」と「暮らしTechセグメント」で構成される「生活提案企業」として、更に成長するためにビジネスをモデル化することを通じて、規模の拡大を図ってまいります。将来の成長に向けて、積極的に投資を行う過程にある当社において経営方針の安定が求められるため、経営陣が一定の割合を保有することが重要です。当面は、流通株式比率30%を目安に、流通株式比率の向上に取り組んでまいります。

また、当社の流通株式数は、639,400株(移行基準日における東証の定める基準)と少なく、短期間に大量の株式を市場に供給することは株価形成においてマイナスの影響も大きいことから、2026年6月末までに上場維持基準(流通株式比率25%以上)を充たすとともに、可能な限り早期に流通株式比率30%を達成するため段階的に流通株式比率向上の為の施策を実施してまいります。

合わせて、今後株主の皆様とは更にコミュニケーションを密にとり、株式の取得状況の把握に努めることといたします。新しい事実が確認できた場合、所定の手続きの上、速やかに公表いたします。

なお、流通株式比率向上の具体的な施策につきましては、大株主による売却(自己株式化の後消却を含む)、

事業法人株式の流動化等含めて検討しております。具体的な時期、手法については株価への影響を勘案したうえで決定次第速やかに公表いたします。